

7/3
3/28/01

LAW OFFICES
SUGHRUE, MION, ZINN, MACPEAK & SEAS, PLLC
2100 PENNSYLVANIA AVENUE, N.W.
WASHINGTON, DC 20037-3213
TELEPHONE (202) 293-7060
FACSIMILE (202) 293-7860
www.sughrue.com



January 31, 2001

BOX PATENT APPLICATION
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Re: Application of Toshimichi KAWAI
INFORMATION TERMINAL WITH SECURITY FUNCTION
Our Ref. Q62766

Dear Sir:

Attached hereto is the application identified above including 16 sheets of the specification, including the claims and abstract, 3 sheets of drawings, executed Assignment and PTO 1595 form, and executed Declaration and Power of Attorney. Also enclosed is the Information Disclosure Statement.

The Government filing fee is calculated as follows:

Total claims	12 - 20	=		x	\$18.00	=	\$0.00
Independent claims	2 - 3	=		x	\$80.00	=	\$0.00
Base Fee							\$710.00
TOTAL FILING FEE							\$710.00
Recordation of Assignment							\$40.00
TOTAL FEE							\$750.00

Checks for the statutory filing fee of \$710.00 and Assignment recordation fee of \$40.00 are attached. You are also directed and authorized to charge or credit any difference or overpayment to Deposit Account No. 19-4880. The Commissioner is hereby authorized to charge any fees under 37 C.F.R. §§ 1.16 and 1.17 and any petitions for extension of time under 37 C.F.R. § 1.136 which may be required during the entire pendency of the application to Deposit Account No. 19-4880. A duplicate copy of this transmittal letter is attached.

Priority is claimed from February 01, 2000 based on Japanese Application No. 2000-024366. The priority document is enclosed herewith.

Respectfully submitted,
SUGHRUE, MION, ZINN,
MACPEAK & SEAS, PLLC
Attorneys for Applicant

By: 

J. Frank Osha
Registration No. 24,625

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 2月 1日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-024366

出 願 人

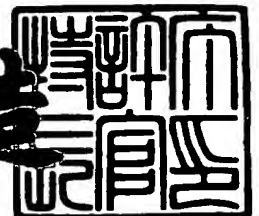
Applicant (s):

米沢日本電気株式会社

2000年12月15日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3104289

【書類名】 特許願

【整理番号】 01901343

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 1/00
G06F 1/26
G06F 15/00

【発明者】

【住所又は居所】 山形県米沢市下花沢 2 丁目 6 番 8 0 号
米沢日本電気株式会社内

【氏名】 川合 俊道

【特許出願人】

【識別番号】 000240617

【氏名又は名称】 米沢日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082935

【弁理士】

【氏名又は名称】 京本 直樹

【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100082924

【弁理士】

【氏名又は名称】 福田 修一

【電話番号】 03-3454-1111

【選任した代理人】

【識別番号】 100085268

【弁理士】

【氏名又は名称】 河合 信明

【電話番号】 03-3454-1111

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 021566

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9114196

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 セキュリティ機能付き情報処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報機器と前記情報機器に接続され電源を供給するバッテリーパックとからなるセキュリティ機能付き情報処理装置であって、前記情報機器は、入力装置を有する装置負荷と、前記バッテリーパックから供給される電源をオン／オフする第一スイッチと、第一パスワードを記憶する機器記憶部と、前記機器記憶部と前記入力装置と前記バッテリーパックとの通信を行う通信部と、前記装置負荷への前記バッテリーパックからの電源の供給を前記通信部によりオン／オフ制御される第二スイッチとを有し、前記バッテリーパックは、電池と、前記通信部との通信により読み出される第二パスワードを記憶するバッテリー記憶部とを有することを特徴とするセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 2】 情報機器と前記情報機器に接続され電源を供給するバッテリーパックとからなるセキュリティ機能付き情報処理装置であって、前記情報機器は、入力装置を有する装置負荷と、前記バッテリーパックから供給される電源をオン／オフする第一スイッチと、第一パスワードを記憶する機器記憶部と、前記機器記憶部と前記入力装置と前記バッテリーパックとの通信を行う通信部と、前記装置負荷への電源を供給する負荷用電源が前記通信部によりオン／オフ制御される第二スイッチとを有し、前記バッテリーパックは、電池と、前記通信部との通信により読み出される第二パスワードを記憶するバッテリー記憶部とを有することを特徴とするセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 3】 前記通信部は、前記第一スイッチをオンすると前記バッテリー記憶部および前記機器記憶部と通信を行い、前記バッテリー記憶部に記憶された前記第二パスワードを読み出すと共に前記機器記憶部に記憶されている前記第一パスワードを読み出し、前記第一パスワードと前記第二パスワードとを比較することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 4】 前記通信部は、前記第一パスワードと前記第二パスワードとを比較した結果、一致すれば前記第二スイッチをオンにし前記装置負荷に前記バッテリーパックからの電源を供給し、異なれば前記第二スイッチをオフにし前記装

置負荷に前記バッテリーパックからの電源を供給しないことを特徴とする請求項 1 または 3 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 5】 前記通信部は、前記第一パスワードと前記第二パスワードとを比較した結果、一致すれば前記第二スイッチをオンにし前記装置負荷に前記負荷用電源からの電源を供給し、異なれば前記第二スイッチをオフにし前記装置負荷に前記負荷用電源からの電源を供給しないことを特徴とする請求項 2 または 3 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 6】 前記電池は、装置負荷と前記機器記憶部と前記通信部と前記バッテリー記憶部とに電源を供給することを特徴とする請求項 1、3、4 の何れか 1 項記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 7】 前記電池は、前記機器記憶部と前記通信部と前記バッテリー記憶部とに電源を供給することを特徴とする請求項 2、3、5 の何れか 1 項記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 8】 前記バッテリー記憶部は、前記情報機器から電源が供給されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 9】 前記入力装置は、前記通信部を介して前記第一パスワードと前記第二パスワードとの設定または設定変更を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 10】 前記第一パスワードと前記第二パスワードとは、同一であることを特徴とする請求項 9 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 11】 前記第一パスワードと前記第二パスワードとの設定は、工場出荷前に行われることを特徴とする請求項 9 または 10 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 12】 前記第一パスワードと前記第二パスワードとは、数字、文字、暗号の何れかであることを特徴とする請求項 9 乃至 11 の何れか 1 項記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 13】 前記機器記憶部および前記バッテリー記憶部は、共に、不揮発性メモリを有することを特徴とする請求項 1、2、3 の何れか 1 項記載のセキ

セキュリティ機能付き情報処理装置。

【請求項 1 4】 前記不揮発性メモリは、EEPROMであることを特徴とする請求項 1 3 記載のセキュリティ機能付き情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、セキュリティ機能付き情報処理装置に関し、特に、パスワードを記憶させたユーザのみが使用可能となり、機密性、安全性を保持したセキュリティ機能付き情報処理装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、この種の情報処理装置において、セキュリティを確保するための手段としては、情報処理装置の動作初期時にパスワードを入力することにより行うのが一般的である。

【0 0 0 3】

特開平 1 0－9 1 2 6 5 では、携帯型情報機器のユーザが、パスワードを入力することにより、セキュリティ保護を強化する技術が記載されている。

【0 0 0 4】

図 3 は、特開平 1 0－9 1 2 6 5 記載の携帯型情報機器の構成ブロック図を示す。

【0 0 0 5】

図 3 を参照すると、従来の携帯型情報機器 5 0 は、携帯型情報機器 5 0 の電源がオンされた際に、情報提示部 5 3 によって提示された画面から異なる画面への移動が入力部 5 1 を介して指示されたときに、セキュリティ確認部 5 7 は、ユーザに対してパスワードの入力を要求し、不正使用防止部 5 8 は、セキュリティ確認部 5 7 の要求に応じてユーザがパスワードを入力したときに、その入力したパスワードと予め設定されたパスワード記憶部 5 6 に記憶されているパスワードとが一致するかどうかを判定し、一致しなかったときには、携帯型情報機器 5 0 の電源をオフするとともに、不正使用を示す情報を情報記憶部 5 4 に記録すること

により、電源をオンするたびにパスワードを入力する操作を不要にすると共に、機密保護の強化を図っている。

【0006】

また、特開平10-149337記載の小型情報機器の起動時に於けるセキュリティ機能では、パスワード入力回数を制限し、一定回数を超した場合に小型情報機器を起動中止モードにし、予め登録した小型情報機器固有でかつ小型情報機器とは別のハードウェア媒体による入力信号によって起動不可状態を解除することにより、セキュリティの向上を図る技術が開示されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述の従来の情報機器のセキュリティ技術は、以下に示すような課題がある。

【0008】

ユーザがパスワードを入力したときに、その入力したパスワードと予め設定されたパスワードとが一致するかどうかを判定することにより、ユーザの特定を行う特開平10-91265に開示された技術は、パスワードを記憶させたユーザではなくても、情報機器に記憶されたパスワードと同一のパスワードを入力しさえすれば、情報機器の使用が可能になってしまうことになり、例えば、セキュリティ管理が行われているプログラムの解析をデバッグツールなどにより行い、パスワードを知ることが可能であり、セキュリティとして完全ではないという課題がある。

【0009】

また、パスワード入力回数を制限し、一定回数を超した場合に小型情報機器を起動中止モードにし、別のハードウェア媒体による入力信号によって起動不可状態を解除する特開平10-149337に開示の技術は、情報機器を使用する際、ユーザが情報機器に予め登録したパスワードと同じパスワードを起動時に毎回入力しなければならず、操作が煩雑になるという課題がある。

【0010】

本発明の目的は、バッテリーパックと情報機器との通信によりパスワードを読み

出すことにより、パスワードを記憶させたユーザのみが使用可能となり、機密性、安全性を保持でき、且つ、ユーザがパスワードの入力をしなくても情報機器を使用できるセキュリティ機能付き情報処理装置を提供することにある。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第一の発明は、情報機器と情報機器に接続され電源を供給するバッテリーパックとからなるセキュリティ機能付き情報処理装置であって、情報機器は、入力装置を有する装置負荷と、バッテリーパックから供給される電源をオン／オフする第一スイッチと、第一パスワードを記憶する機器記憶部と、機器記憶部と入力装置とバッテリーパックとの通信を行う通信部と、装置負荷へのバッテリーパックからの電源の供給を通信部によりオン／オフ制御される第二スイッチとを有し、バッテリーパックは、電池と、通信部との通信により読み出される第二パスワードを記憶するバッテリー記憶部とを有することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第二の発明は、情報機器と情報機器に接続され電源を供給するバッテリーパックとからなるセキュリティ機能付き情報処理装置であって、情報機器は、入力装置を有する装置負荷と、バッテリーパックから供給される電源をオン／オフする第一スイッチと、第一パスワードを記憶する機器記憶部と、機器記憶部と入力装置とバッテリーパックとの通信を行う通信部と、装置負荷への電源を供給する負荷用電源が通信部によりオン／オフ制御される第二スイッチとを有し、バッテリーパックは、電池と、通信部との通信により読み出される第二パスワードを記憶するバッテリー記憶部とを有することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

通信部は、第一スイッチをオンするとバッテリー記憶部および機器記憶部と通信を行い、バッテリー記憶部に記憶された第二パスワードを読み出すと共に機器記憶部に記憶されている第一パスワードを読み出し、第一パスワードと第二パスワードとを比較することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

通信部は、第一パスワードと第二パスワードとを比較した結果、一致すれば第二スイッチをオンにし装置負荷にバッテリーパックからの電源を供給し、異なれば第二スイッチをオフにし装置負荷にバッテリーパックからの電源を供給しないことを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

通信部は、第一パスワードと第二パスワードとを比較した結果、一致すれば第二スイッチをオンにし装置負荷に負荷用電源からの電源を供給し、異なれば第二スイッチをオフにし装置負荷に負荷用電源からの電源を供給しないことを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

電池は、装置負荷と機器記憶部と通信部とバッテリー記憶部とに電源を供給することを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

電池は、機器記憶部と通信部とバッテリー記憶部とに電源を供給することを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

バッテリー記憶部は、情報機器から電源が供給されることを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

入力装置は、通信部を介して第一パスワードと第二パスワードとの設定または設定変更を行うことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

第一パスワードと第二パスワードとは、同一であることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

第一パスワードと第二パスワードとの設定は、工場出荷前に行われることを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

第一パスワードと第二パスワードとは、数字、文字、暗号の何れかであることを特徴とする。

【 0 0 2 3 】

機器記憶部およびバッテリー記憶部は、共に、不揮発性メモリを有することを特徴とする。

【 0 0 2 4 】

不揮発性メモリは、EEPROMであることを特徴とする。

【 0 0 2 5 】

【発明の実施の形態】

次に、本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の実施の形態について図面を参照して説明する。

【 0 0 2 6 】

図 1 は、本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第一の実施の形態を示す構成ブロック図である。

【 0 0 2 7 】

図 1 を参照すると、セキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 は、情報機器 1 と情報機器 1 に接続され電源を供給するバッテリーパック 2 とからなり、情報機器 1 は、入力装置 7 を有する装置負荷 6 と、バッテリーパック 2 の電池 1 1 から供給される電源をオン／オフする第一スイッチ 4 と、第一パスワードを記憶する不揮発性メモリの EEPROM (Electrically Erasable Programmable Read Only Memory) からなる機器記憶部 5 と、機器記憶部 5 と入力装置 7 とバッテリーパック 2 のバッテリー記憶部 9 との通信を行う通信部 8 と、装置負荷 6 へのバッテリーパック 2 からの電源の供給を通信部 8 によりオン／オフ制御される第二スイッチ 3 とを有し、バッテリーパック 2 は、電池 1 1 と、通信部 8 との通信により読み出される第二パスワードを記憶する不揮発性メモリの EEPROM からなるバッテリー記憶部 9 とから構成され、電池 1 1 は、機器記憶部 5 とバッテリー記憶部 9 と通信部 8 と装置負荷 6 とに電源を供給し、バッテリー記憶部 9 は、情報機器 1 から電源が供給されるよう構成されている。

【 0 0 2 8 】

また、第一パスワードと第二パスワードとの設定または設定変更は、入力装置

7から入力することにより、通信部8が機器記憶部5とバッテリー記憶部9との間で通信を行うことで実施され、第一パスワードと第二パスワードとの設定は、両方同一のパスワードが工場出荷前に行われるよう構成されている。

【0029】

次に、上述のように構成されたセキュリティ機能付き情報処理装置20の動作について、図を参照して説明する。

【0030】

セキュリティ機能付き情報処理装置20を使用するユーザが、第一スイッチ4をオンにすると、通信部8は、機器記憶部5およびバッテリー記憶部9と通信を行い、バッテリー記憶部9に記憶された第二パスワードを読み出すと共に機器記憶部5に記憶されている第一パスワードを読み出し、第一パスワードと第二パスワードとを比較する。

【0031】

ここでは一例として、パスワードを4桁の数字とし、「1234」として、以降説明する。なお、パスワードは、文字、数字、暗号化技術を用いて暗号化した暗号の何れでも良く、また、桁数や種類に特別な制限は無いことは云うまでもない。

【0032】

第一パスワードの「1234」と第二パスワードの「1234」とを比較した結果は一致しているので、通信部8は、第二スイッチ3をオンにし、装置負荷6にバッテリーパック2の電池11からの電源が供給され、情報機器1は使用可能となる。

【0033】

なお、機器記憶部5およびバッテリー記憶部9は、不揮発性のEEPROMが用いられており、電源の供給が無くなった場合にも、第一パスワードおよび第二パスワードを記憶しておくことができる。

【0034】

次に、セキュリティ機能付き情報処理装置20の所有者ではない不正ユーザが、この情報機器1を不正使用するために、同型のバッテリーパック2を接続した場

合について説明する。

【 0 0 3 5 】

不正ユーザの所有しているバッテリーパック 2 のバッテリー記憶部 9 には、例えば、第二パスワードとして「 2 3 4 5 」が記憶されているとする。

【 0 0 3 6 】

不正ユーザが、情報機器 1 を使用するためにスイッチ 4 をオンすると、通信部 8 は、機器記憶部 5 およびバッテリー記憶部 9 と通信を行い、機器記憶部 5 に記憶されている第一パスワードの「 1 2 3 4 」と第二パスワードの「 2 3 4 5 」とを読み出し、それぞれのパスワードを比較するが、比較した結果は、それぞれのパスワードは一致していないので、通信部 8 は、第二スイッチ 3 をオンにしない制御を行い、装置負荷 6 にバッテリーパック 2 の電池 1 1 からの電源が供給されないことになり、不正ユーザによる情報機器 1 の使用が不可能となる。

【 0 0 3 7 】

次に、第一パスワードと第二パスワードとの設定変更について説明する。

【 0 0 3 8 】

セキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 が使用可能な状態、即ち、情報機器 1 とバッテリーパック 2 との組合せにおいて、第一パスワードと第二パスワードとが同一で、装置負荷 6 に電源が供給されている状態であれば、ユーザは、パスワードの変更が可能となる。

【 0 0 3 9 】

いま、パスワード設定変更後のパスワードを「 5 6 7 8 」とする。

【 0 0 4 0 】

ユーザが設定変更後のパスワード「 5 6 7 8 」を入力装置 7 から入力すると、通信部 8 は、機器記憶部 5 とバッテリー記憶部 9 との間で通信を行い、第一パスワードと第二パスワードとを、共に、「 1 2 3 4 」から「 5 6 7 8 」に変更することにより行われる。

【 0 0 4 1 】

従って、情報機器 1 とバッテリーパック 2 とからなるセキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 を購入時の状態、即ち、第一パスワードと第二パスワードとが同一

である場合においては、ユーザは、任意のパスワードへの変更ができるが、不正ユーザは、購入時と異なる情報機器 1 とバッテリーパック 2 との任意の組合せで使用することが完全に不可能となる。

【 0 0 4 2 】

以上説明したように、情報機器 1 の通信部 8 と機器記憶部 5 および電源として使用するバッテリーパック 2 のバッテリー記憶部 9 との通信によりパスワードを利用してユーザの特定を行うため、パスワードを記憶させたユーザ以外は、パスワードを入力する機会が無く、セキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 に予めパスワードを記憶させたユーザだけが、情報機器 1 の使用ができるという効果がある。

【 0 0 4 3 】

また、バッテリーパック 2 との通信によりユーザの特定を行い、情報機器 1 の装置負荷 6 の電源のオンを行うため、一度パスワードを設定すれば情報機器 1 の電源をオンして起動するたびにパスワードを入力するといった操作が不必要となり、ユーザがパスワードの入力を行なう煩雑さから解放されるという効果がある。

【 0 0 4 4 】

次に、本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第二の実施の形態について、図面を参照して説明する。

【 0 0 4 5 】

図 2 は、本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第二の実施の形態を示す構成ブロック図である。

【 0 0 4 6 】

なお、図 1 に示す第一の実施の形態と同一構成要素に関しては、同一符号で表記している。

【 0 0 4 7 】

図 2 を参照すると、セキュリティ機能付き情報処理装置 3 0 は、情報機器 1 と情報機器 1 に接続され電源を供給するバッテリーパック 2 とからなり、情報機器 1 は、入力装置 7 を有する装置負荷 6 と、バッテリーパック 2 の電池 1 1 から供給される電源をオン／オフする第一スイッチ 4 と、第一パスワードを記憶する不揮発性メモリの E E P R O M からなる機器記憶部 5 と、機器記憶部 5 と入力装置 7 と

バッテリーパック 2 のバッテリー記憶部 9 との通信を行う通信部 8 と、装置負荷 6 への電源を供給する負荷用電源 1 0 が通信部 8 によりオン／オフ制御される第二スイッチ 3 とを有し、バッテリーパック 2 は、電池 1 1 と、通信部 8 との通信により読み出される第二パスワードを記憶する不揮発性メモリの E E P R O M からなるバッテリー記憶部 9 とから構成され、電池 1 1 は、機器記憶部 5 とバッテリー記憶部 9 と通信部 8 とに電源を供給し、バッテリー記憶部 9 は、情報機器 1 から電源が供給されるよう構成されている。

【0048】

上述のように構成されたセキュリティ機能付き情報処理装置 3 0 が、前述の第一の実施の形態のセキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 と異なる点は、入力装置 7 を含む装置負荷 6 が負荷用電源 1 0 と接続され、装置負荷 6 は負荷用電源 1 0 から電源の供給を受け、バッテリーパック 2 の電池 1 1 は、機器記憶部 5 と通信部 8 とバッテリー記憶部 9 とに電源を供給し、装置負荷 6 には電源の供給を行わない点であり、第一の実施の形態のセキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 の有する効果に加え、バッテリーパック 2 を小型化でき、且つ、バッテリーパック 2 では駆動できない大電力を必要とする情報機器 1 でも電源の供給ができ、駆動可能となるという効果を併せて有する。

【0049】

なお、セキュリティ機能付き情報処理装置 3 0 の動作に関しては、上記の点を除き、前述の第一の実施の形態のセキュリティ機能付き情報処理装置 2 0 と同一のため、説明を省略する。

【0050】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置は、情報機器の通信部と機器記憶部およびバッテリー記憶部との通信により、機器記憶部の第一パスワードおよびバッテリー記憶部の第二パスワードを読み出して比較することでユーザの特定を行うため、パスワードを記憶させたユーザ以外は、パスワードを入力する機会が無く、予めパスワードを記憶させたユーザだけが、情報機器の使用ができるという効果がある。

【 0 0 5 1 】

また、バッテリーパックのバッテリー記憶部との通信によりユーザの特定を行い、通信部の制御により装置負荷の電源の供給を行うため、一度パスワードを設定すれば、情報機器の電源をオンして起動するたびにパスワードを入力するといった操作が不必要となり、ユーザがパスワードの入力を行なう煩雑さから解放されるという効果がある。

【 0 0 5 2 】

更に、バッテリーパックの電池とは別の負荷用電源から装置負荷に電源供給を行うことにより、バッテリーパックを小型化でき、且つ、バッテリーパックでは駆動できない大電力を必要とする情報機器の使用が可能になるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第一の実施の形態を示す構成ブロック図である。

【図 2】

本発明のセキュリティ機能付き情報処理装置の第二の実施の形態を示す構成ブロック図である。

【図 3】

従来の携帯型情報機器の構成ブロック図である。

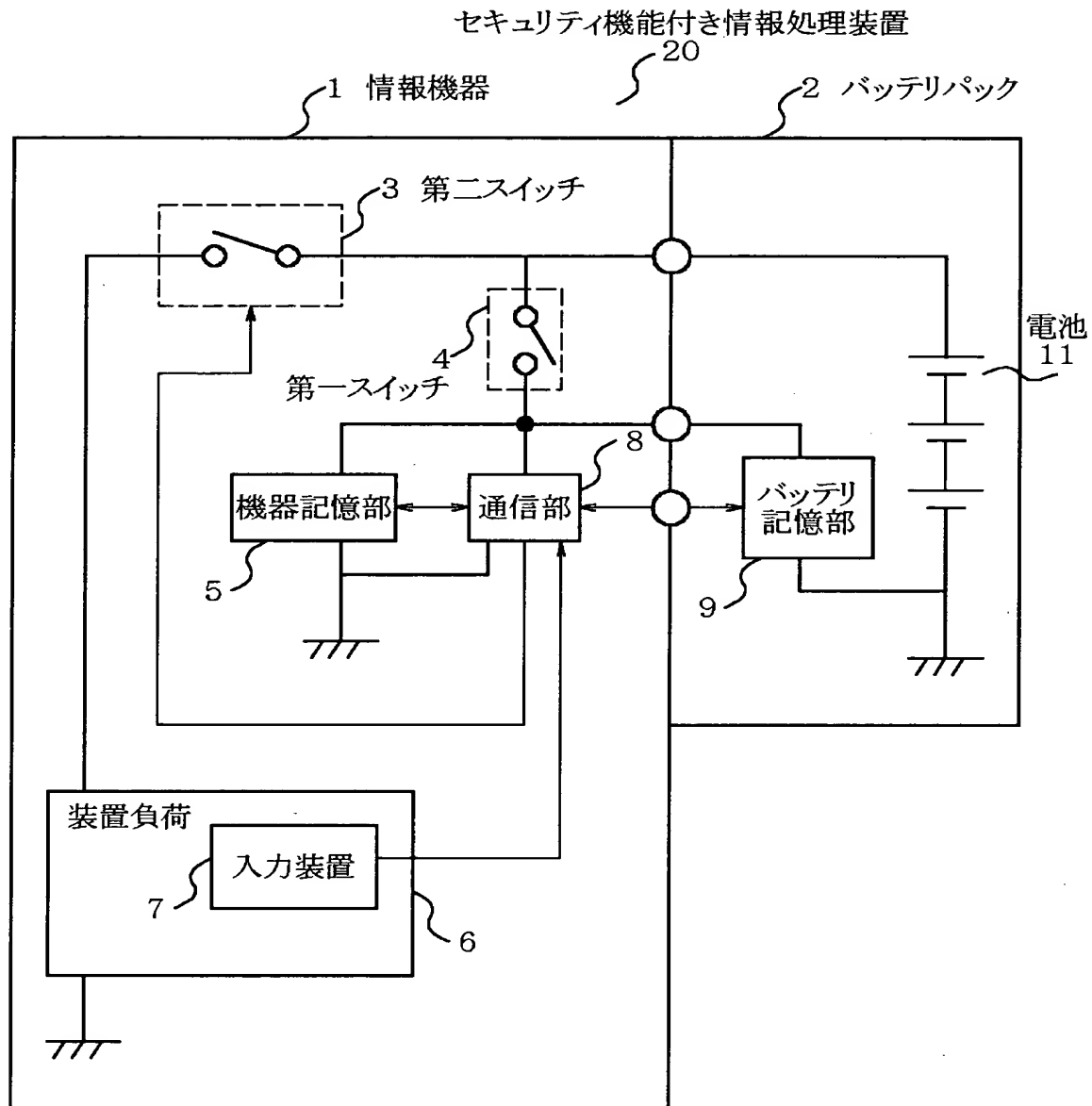
【符号の説明】

- 1 情報機器
- 2 バッテリーパック
- 3 第二スイッチ
- 4 第一スイッチ
- 5 機器記憶部
- 6 装置負荷
- 7 入力装置
- 8 通信部
- 9 バッテリー記憶部

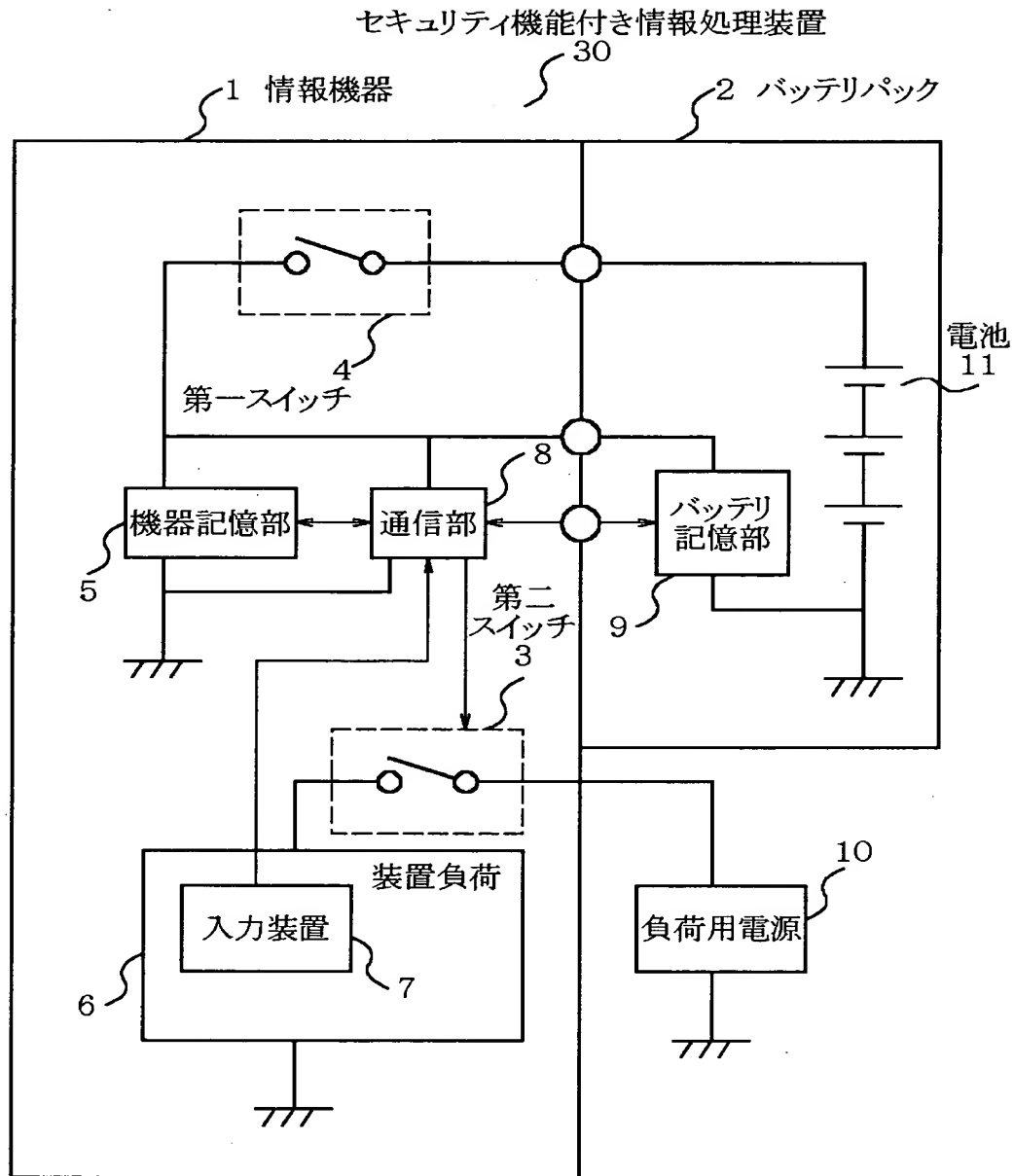
- 1 0 負荷用電源
- 1 1 電池
- 2 0、3 0 セキュリティ機能付き情報処理装置
- 5 0 携帯型情報機器
- 5 1 入力部
- 5 3 情報提示部
- 5 4 情報記憶部
- 5 6 パスワード記憶部
- 5 7 セキュリティ確認部

【書類名】 図面

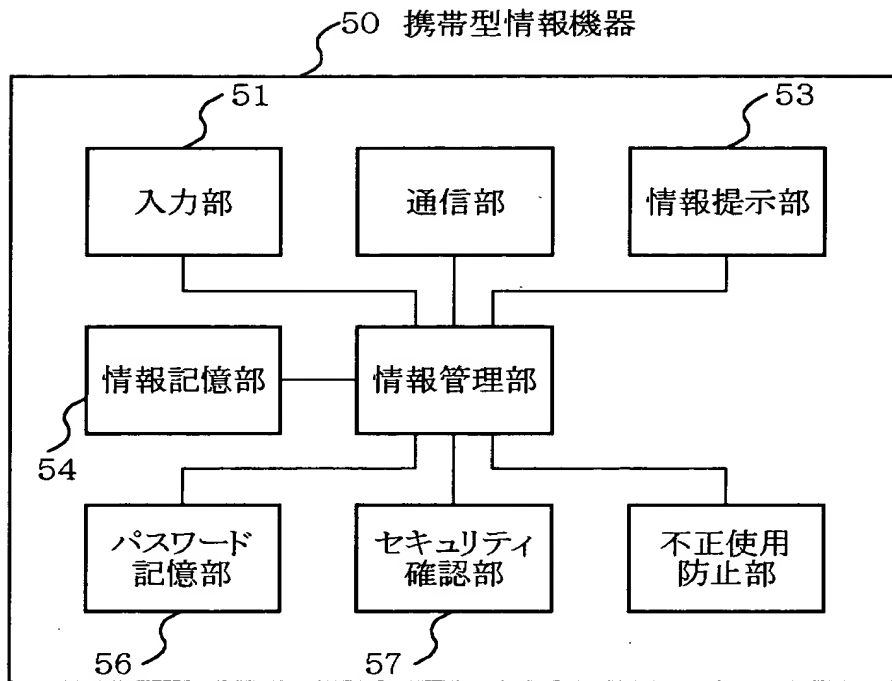
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 パスワードを記憶させたユーザのみが使用可能となる機密性、安全性を保持し、且つ、ユーザがパスワードの入力をしなくても情報機器を使用できるセキュリティ機能付き情報処理装置を提供する。

【解決手段】 情報機器 1 とバッテリーパック 2 との通信によりパスワードを読み出してユーザの特定を行い、パスワードが一致したとき、通信部 8 で第二スイッチ 3 をオンにする制御を行い、装置負荷 6 に電源を供給する。

【選択図】 図 1

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 0 2 4 3 6 6
受付番号	5 0 0 0 0 1 1 0 9 3 8
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 2 月 2 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年 2月 1日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 2 4 0 6 1 7]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 3 日
[変更理由]	新規登録
住 所	山形県米沢市下花沢 2 丁目 6 番 8 0 号
氏 名	米沢日本電気株式会社